

5回	離散から連続へ：連続型確率変数、確率密度関数、正規分布、標準化
6回	母集団の分布を調べる：母集団、標本、標本平均、標本の偏り、無作為抽出、正規分布、t分布
7回	介入効果を調べる：2群の比較、t検定、等分散性の検定、ウェルチの検定
8回	中間試験：前半のまとめと復習
9回	順位を用いて介入効果を評価する：2群の比較、ウィルコクソン順位和検定、タイ
10回	割合の違いを検討する：カイ2乗分布、ピアソンのカイ2乗検定、直接確率法、オッズ比
11回	必要な標本サイズを決定しよう：検出力、例数設計、t検定、カイ2乗検定
12回	2つの変数はどんな関係：散布図、共分散、相関係数、標準化、回帰直線、2×2分割表
13回	薬の量と効き目の関係は？：用量反応関係、ロジスティック曲線、半数有効用量、判別率
14回	打ち切りデータに慣れよう：生存時間、右側打ち切り、 Kaplan・マイヤー曲線
15回	同じ土俵で比べよう、まとめ：背景要因、年齢調整済死亡率、層別化、交絡因子、偏相関係数
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	
成績評価方法及び基準	
定期試験（70%）、提出課題（30%）で評価する。トータル60点以上を合格とする。	
教科書	藤井良宣・佐藤健一・富田哲治・和泉志津恵『医療系のための統計入門』、実教出版
参考図書等	補助資料として、プリントを準備・配布する。
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）	
教科書該当箇所の予習（2時間）、課題等にとりくむ復習（2時間）を行ってください。	
関連科目	
前科目	
後科目	117 実践と研究
実務家教員	
備考	各自、電卓を持参すること。また、パソコンを使用した演習問題の解き方の解説も行うので、可能な人は、Excel2016以降のExcelがインストールされたパソコンで自習すること。